

## 債務保証対象預託牛の在庫確認業務実施要領

制定	平成 25 年 10 月 2 日付け 25 日畜協第 177 号
一部改正	平成 26 年 4 月 1 日付け 26 日畜協第 58 号
一部改正	平成 27 年 2 月 13 日付け 27 日畜協第 16 号
一部改正	平成 28 年 3 月 11 日付け 28 日畜協第 51 号

一般社団法人日本家畜商協会（以下「協会」という。）は、家畜商組合（中小企業等協同組合法に基づく事業協同組合及び事業協同組合連合会をいう。以下同じ。）が協会の債務保証付き借入により導入した肉用子牛等（以下「預託牛」という。）及び預託債権の管理を支援するため、債務保証対象預託牛（以下「在庫確認対象預託牛」という。）の存在確認業務を実施するものとする。

### 第1 業務の内容

家畜商組合が作成した在庫確認対象預託牛の個体識別情報と独立行政法人家畜改良センター（以下「家畜改良センター」という。）の牛個体識別データ（以下「トレサデータ」という。）との照合、その結果等の家畜商組合への報告

### 第2 利用対象者の資格

協会の預託牛在庫確認業務を利用できる者は、協会の債務保証を受けている家畜商組合とする。

### 第3 業務の実施

#### 1 預託牛在庫確認の依頼等

(1) 協会は、家畜商組合からの依頼によって、在庫確認対象預託牛の在庫確認（以下「預託牛在庫確認」という。）を行う。

(2) 預託牛在庫確認は、年12回とする。

#### 2 預託牛在庫確認の利用申込み

協会に預託牛在庫確認を依頼しようとする家畜商組合は、利用開始月の前月 20 日（休業日の場合は翌営業日）までに協会に預託牛在庫確認依頼書（別紙様式 1 号）を提出する。

#### 3 預託牛在庫確認の利用承諾等

(1) 協会は、家畜商組合から提出された預託牛在庫確認依頼書を審査し、承諾することを決定したときは、当該家畜商組合（以下「利用組合」という。）に対し、預託牛在庫確認承諾書（別紙様式 2 号）を交付する。

(2) 利用の諾否の決定は、協会の会長（以下「会長」という。）が行う。

#### 4 牛個体識別情報の提供依頼

協会は、預託牛在庫確認の利用承諾を行ったときは、家畜改良センターに対し、トレサデータの提供を依頼する。

#### 5 在庫確認対象預託牛の確認等に係る手続き

(1) 利用組合は、毎月 10 日（休業日の場合は翌営業日。以下同じ。）までに、前月末日時点の融資基本情報登録シート（以下「融資情報シート」という。）及び預託牛基本情報登録シート（以下「預託牛情報シート」という。）を協会へ電子媒体で

提出する。

ただし、前月に異動事項（対象資金の新規借入・返済、預託牛の導入・販売・死亡等）がなかったときは、融資情報シート及び預託牛情報シートの協会への提出を省略できる。

- (2) 協会は、預託牛情報シートに入力された預託牛の個体識別情報とトレサデータとの照合を遅滞なく行う。
- (3) 協会は、(2)の照合を行った場合は、前月末日時点の帳票を出力し、利用組合へ紙媒体等で報告（別紙様式3号）する。

1) 利用組合へ報告する帳票

① 預託牛個体情報マッチングリスト

ただし、預託牛情報シートに入力された預託牛の個体識別情報とトレサデータとの差異が検出されたときに限る。

(紙媒体及び電子媒体で提供)

② 預託牛異動状況表

(電子媒体で提供)

2) 利用組合から特に要望があったときに報告する帳票

① 預託牛在庫評価集計表

(電子媒体で提供)

② 預託牛管理台帳

(電子媒体で提供)

(4) 融資情報シート等の入力帳票及び出力帳票の様式は別添のとおりとする。

6 預託牛在庫確認内容の変更

利用組合は、在庫確認回数又は在庫確認対象組合員を変更しようとする場合は、遅滞なく、預託牛在庫確認内容変更依頼書（別紙様式4号）を協会へ提出する。

7 預託牛在庫確認内容変更の承諾

協会は、利用組合から提出された預託牛在庫確認内容変更依頼書を審査し、変更の承諾を決定したときは、当該利用組合に対し預託牛在庫確認内容変更承諾書（別紙様式5号）を交付する。

なお、この変更が在庫確認対象組合員の変更を伴う場合、協会は、家畜改良センターに対し、トレサデータ提供の変更依頼を行う。

8 預託牛在庫確認の中止及び解除

利用組合は、預託牛在庫確認を中止又は解除しようとするときは、協会に対し書面により申し出を行うものとする。

9 預託牛在庫確認に係る経費の負担

預託牛在庫確認に係る経費は、全額協会負担とする。

10 審査委員会への報告

会長は、この業務の実施状況等について、直近時に開催される審査委員会に報告するものとする。

#### 第4 業務の実施期間

この業務は、平成25年度から実施する。

#### 第5 業務実施状況の聴取等

1 業務実施状況の聴取等

会長は、この業務の実施に関して必要に応じ、利用組合に対して調査し又は報告を求めることができるものとする。

2 本要領等の制定、改正及び廃止

- (1) 本要領の制定及び廃止については、理事会の議決を経て行う。また、業務の内容又は経費の負担に関する本要領の改正についても同様とする。
- (2) 会長は、(1) 以外の本要領の改正並びにこの業務の実施につき必要な事項の制定、改正及び廃止を行うことができるものとする。  
この場合、会長は審査委員会に諮るものとする。

附則（平成 25 年 10 月 2 日理事会承認）

この要領は、理事会の承認のあった日から施行し、平成 25 年 10 月 1 日から適用する。

附則（平成 26 年 3 月 20 日理事会承認）

この要領は、理事会の承認のあった日から施行し、平成 26 年 4 月 1 日から適用する。

附則（平成 27 年 2 月 13 日決定）

この要領は、審査委員会の承認のあった日から施行し、平成 27 年 4 月 1 日から適用する。

附則（平成 28 年 3 月 11 日決定）

この要領は、会長の承認のあった日から施行し、平成 28 年 4 月 1 日から適用する。

(別紙様式1号)

預託牛在庫確認依頼書

番 号  
平成 年 月 日

一般社団法人 日本家畜商協会  
会 長 殿

(利用申込者) 名 称 ○○家畜商業協同組合  
代表者 理事長 ⑩

今般、貴協会の債務保証付き借入により導入した預託牛及び預託債権の管理に当たり、貴協会に預託牛在庫確認を願いたく、依頼いたします。

預託牛在庫確認の実施に当たっては、貴協会の債務保証対象預託牛の在庫確認業務実施要領等の定めるところに従い、必ずその義務を履行いたします。

記

1. 預託牛在庫確認の概要

在庫確認開始日	平成 年 月末から
在庫確認回数	年12回(毎月)
在庫確認対象組合員数	人

添付資料

別添資料1-1 同意書(在庫確認対象組合員全員分)

別添資料1-2 提供を希望する報告様式及び報告形式(最初の預託牛担保管理依頼書に添付)

別添資料1-3 提供を希望する報告様式及び報告形式(変更)(変更を希望するときに提出)

同 意 書

平成 年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

同意管理者

氏名又は名称

印

住所又は所在地

管理者等

コード番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

私は、「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程」第4条第三号の規定により、下記1の利用者が、下記2の利用目的のため、家畜改良センターより、牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法施行規則（平成15年農林水産省令第72号）第6条に係る私の情報を取得することに同意します。

記

1 利用者

- ・氏名又は名称 一般社団法人日本家畜商協会
- ・住所又は所在地 東京都中央区新川2-6-16

2 利用目的

一般社団法人日本家畜商協会の預託牛在庫確認業務（家畜商業協同組合が作成した在庫確認対象牛の明細表に記載された預託牛の個体識別番号と貴センターの牛個体識別データとの照合を行い、その結果等を当該組合へ報告する業務）を利用することにより、同意管理者が組合員となっている家畜商業協同組合が預託牛及び預託債権を適正に管理出来るようになる。これにより家畜商業協同組合の信用が高まることから、預託牛導入資金調達円滑化が図られ、同意管理者の預託牛経営の拡大が可能となる。

3 その他

利用期間は、一般社団法人日本家畜商協会の預託牛在庫確認業務を利用している間  
独自農家コード 02000000（〇〇家畜商業協同組合）

（日本工業規格A4）

別添資料 1 - 2

提供を希望する報告様式及び報告形式

平成 年 月 日

(組合) 名称  
代表者

⑩

当組合は、貴協会から下表のうち○を付した様式の提供を希望します。

区 分		報告様式	報告形式
協会が提供する帳票		別添様式 3 号 預託牛個体情報マッチングリスト (預託牛情報シートに入力された預託牛の個体識別情報と家畜改良センターの牛個体識別データとに差異が検出されたときに限る。)	紙媒体及び電子媒体
		別添様式 4 号 預託牛異動状況表	電子媒体
特に希望があった場合に提供する帳票	希望の有無	報告様式	報告形式
		別添様式 5 号 預託牛在庫評価集計表	電子媒体
		別添様式 6 号 預託牛管理台帳	電子媒体

注) この書類は、預託牛在庫確認依頼書を最初に提出するときに、預託牛担保管理依頼書に添付すること。

別添資料 1 - 3

提供を希望する報告様式及び報告形式（変更）

平成 年 月 日

（組合） 名 称  
代表者 ⑩

当組合は、下表の○のとおり、貴協会からの報告様式及び報告形式の提供の希望を変更します。

区 分		報告様式	報告形式	
協会が提供する帳票		別添様式 3 号 預託牛個体情報マッチングリスト (預託牛情報シートに入力された預託牛の個体識別情報と家畜改良センターの牛個体識別データとに差異が検出されたときに限る。)	紙媒体及び電子媒体	
		別添様式 4 号 預託牛異動状況表	電子媒体	
特に希望があった場合に提供する帳票	希望の有無		報告様式	
	変更後	変更前		報告形式
			別添様式 5 号 預託牛在庫評価集計表	電子媒体
			別添様式 6 号 預託牛管理台帳	電子媒体

- 注) 1 この書類は、希望する報告様式を変更しようとするときに提出すること。  
2 「希望の有無」欄は、右欄の報告様式、報告形式について、変更前と変更後の提供を希望するものについてそれぞれ○を記入すること。

(別紙様式2号)

預託牛在庫確認承諾書

預託牛在庫 確認番号	
預託牛在庫確認の条件	
在庫確認開始日	平成 年 月末から
在庫確認回数	年 1 2 回 (毎月)
在庫確認対象組合員数	名

平成 年 月 日付けでご依頼のあった預託牛在庫確認については、上記により実施致します。

平成 年 月 日

(組 合) 名 称  
代 表 者

殿

一般社団法人 日本家畜商協会  
会 長 ⑩



(別紙様式3号)

平成 年 月 日

(組合) 名称  
代表者 殿

一般社団法人 日本家畜商協会  
会 長

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
さて、本日下記1の書類を同封御送付いたしますので、御査収下さい。  
なお、預託牛基本情報登録シートに入力された預託牛の個体識別情報と家畜改良センターの牛個体識別データとの確認結果は、下記2のとおりです。

敬具

記

- 1 送付書類  
電子媒体  
預託牛異動状況表  
○○○  
○○○
- 2 確認結果  
 差異なし  
 差異あり ( )

(別紙様式4号)

預託牛在庫確認内容変更依頼書

平成 年 月 日

一般社団法人 日本家畜商協会  
会 長 殿

(組合) 名 称  
代 表 者 ⑩

今般、下記預託牛在庫確認について、下記事由により当初の預託牛在庫確認内容の変更を願いたく、依頼いたします。

記

預託牛在庫 確認承諾日	平成 年 月 日	預託牛在庫 確認番号	
変更事項	変更前の表示	変更後の表示	
理由			

- 注) 1. 在庫確認対象組合員を追加する場合は、別紙様式1号の別添1-1の「同意書」を添付すること。  
2. 在庫確認対象組合員の一部を除外する場合は、除外者名簿(任意様式)を添付すること。

(別紙様式5号)

預託牛在庫確認内容変更承諾書

預託牛在庫 確認承諾日	平成 年 月 日	預託牛在庫 確認番号	
変 更 事 項	変更前の表示		変更後の表示

平成 年 月 日付けご依頼の預託牛在庫確認内容の変更については、上記のとおり承認します。

平成 年 月 日

(組合) 名 称  
代 表 者 殿

一般社団法人 日本家畜商協会  
会 長 印

(注) 今般、変更事項以外の事項については、全て当初の預託牛在庫確認内容のとおりとします。

別添

入力帳票、出力帳票一覧

1 入力帳票

- 別添様式 1 号 融資基本情報登録シート
- 別添様式 2 号 預託牛基本情報登録シート

2 出力帳票

- 別添様式 3 号 預託牛個体情報マッチングリスト
- 別添様式 4 号 預託牛異動状況表
- 別添様式 5 号 預託牛在庫評価集計表
- 別添様式 6 号 預託牛管理台帳

(別添様式1号)

融資基本情報登録シート

指示	組合名		承認 番号	購入資金		融資 機関名	融資 種類	融資 金額	返済額 累計	期 間 (From)	期 間 (To)	返 済 完了日	備考
	コード	名称		名称	コード								

- 注) 1. 着色部分は必須入力部分である。  
2. 期間については、肉用牛担保管理事業は、担保管理期間を、預託牛在庫確認業務は融資期間をご記入ください。

(別添様式2号)

預託牛基本情報登録シート

指示	組合名		預託者		承認番号	整理番号	導入日	融資日	報告種		性別		個体識別番号	生年月日	添付資料		購入時体重	購入先		素牛購入費	購入資金		飼養区分		繁殖処理区分		乳用牛流通促進対策事業の対象	異動区分		売却年月日	売却価格	出荷先区分		子牛生産区分		預託期間終了(又は仕向け)年月日	備考	
	コード	コード	名称	名称					コード	コード	名称	コード			名称	コード		名称	コード		名称	コード	名称	コード	名称	コード		名称	コード			名称	コード	名称	コード			名称

注) 1. 着色部分は必須入力部分である。  
2. 「肉用牛流通促進対策事業の対象」欄へは、対象の場合は「1」と、対象外の場合は「0」と記入してください。

(別添様式3号)

預託牛個体情報マッチングリスト

家畜商組合： 対象期間（転入日） 平成 年 月 日～平成 年 月 日 平成 年 月 日 ページ

M2

(※：マッチングエラー、または融資期間内出荷) (—：マッチング項目) (上段：トレサ情報、下段：報告情報) (飼養：飼養区分、承認：承認番号)

整理 番号	※	—	個 体 識 別 番 号	購 入 資 金	農 家 コ ー ド 預 託 者 コ ー ド	農家 名 称 預 託 者 名	—	品 種	—	性 別	—	生年 月 日	飼 養 場 所	—	導 入 区 分	転 入 年 月 日	売 却 価 格	—	転 出 区 分	転 出 日	と 畜 日	と 畜 場	肉用牛流通 促進対策事 業の対象	

(トレサ受入頭数： 報告頭数： マッチング頭数： マッチングエラー頭数)

(別添様式4号)

預託牛異動状況表

家畜商組合：

異動期間 平成 年 月 日～平成 年 月 日

平成 年 月 日 ページ

金融機関：

(転入・転出・死亡)

S 2

預託者：

住所：

(※：融資期間中で販売済み

(単位：頭)

※	承認番号	整理番号	個体識別番号	購入資金	飼養区分	品種	性別	生年月日	素牛購入費①	転入				転出					肉用牛流通促進対策の対象	支出③	売却損益 (②-①-③)			
										転入年月日	預託開始月齢	農家コード	飼養場所	飼養者名	転出日	転出時月齢	預託期間(月齢)	売却価格②				区分	と畜場名等	と畜・子牛出生日
	合計	—	—	—	—		—	—		—	—	—	—		—	—		—	—	—		—		
	平均	—	—	—	—		—	—		—	—	—	—		—	—		—	—	—		—		

注) 1. 転出時月齢の合計及び平均は販売時の月齢である。(死亡時の月齢は計算対象外)

2. 売却価格の合計及び平均は販売分の売却価格の合計及び平均である。(死亡は計算対象外)



(別添様式5号)

預託牛在庫評価集計表

(導入日：平成 年 月 日～平成 年 月 日まで)

平成 年 月 日 ページ

家畜商組合：

預託牛有高日：平成 年 月 日現在

(マッチのみ出力)

金融機関：

(評価区分：x x x x x x)

S 6

承認 番号	融資 金額	返済 額累 計	融資 残高	購入 資金	品種	在庫牛頭数							在庫牛素牛購入費			現在の評価額			評価増加 額			
						肥育	繁殖	経産 牛	その 他	合計			今回	前回	増減	今回	前回	増減		今回	前回	増減
										今回	前回	増減										
合計																						
平均	—	—	—	—		—	—	—	—													

注) 1. 転出時月齢の合計及び平均は販売時の月齢である。(死亡時の月齢は計算対象外)  
2. 売却価格の合計及び平均は販売分の売却価格の合計及び平均である。(死亡は計算対象外)

(別添様式6号)

預託牛管理台帳

対象期間(導入日):平成 年 月 日～平成 年 月 日

家畜商組合:  
預託者名:

預託牛有高日:平成 年 月 日現在

S7

組合	預託者		承認番号	整理番号	導入日	融資日	報告種		性別		個体識別番号	生年月日	添付料		購入時体重	購入先		素牛購入費	評価額	購入金		飼養区分		繁殖処理区分		肉用牛流通促進対策事業の対象	異動区分		売却年月日	売却価格	出荷先区分		子牛生産区分		預託期間終了(又は仕向け)年月日	備考			
	コード	名称					名称	コード	名称	コード			名称	コード		名称	コード			名称	コード	名称	コード	名称	コード		名称	コード			名称	コード	名称	コード			名称	コード	名称
合計																																							
平均																																							

注) 売却価格の合計及び平均は販売分の売却価格の合計及び平均である。(死亡は計算対象外)